



剣道日本一おめでとう！

阿蘇高校女子剣道部



【選手名】 田中尚子(3年) 浅尾真琴(3年) 垣田マキ(2年)
松原沙耶香(3年) 渡邊タイ(3年) 縄田和(3年) 宮本あすか(3年)

凱旋した選手は、3月30日、在校生に優勝を報告。体育館は喜びの拍手で沸きました。挨拶で衛藤校長は「まさに努力の賜物。剣道部は朝6時前から練習し寮から学校まで3kmを走って登下校。月曜日は通学路のごみ拾いをしている。『日本一になる！』そのために一日一日、自己を高める努力をする部員の姿をずっと見ていた」と日々の積み重ねが大切であることを全生徒に話し、お祝いの言葉とされました。

愛知県で3月27・28日行われた第19回全国高校剣道選抜大会で、阿蘇高校女子剣道部の皆さんが、団体選で勝ち抜き、見事優勝！日本一を手にしました。本大会では8年ぶり6度目の優勝です。試合では猛練習を自信に豊田瑞樹監督のもと集中力を高め挑み、準決勝で福岡の筑紫台高校、決勝で茨城の守谷高校を下しました。



阿蘇一の宮ライオンズクラブ20周年を祝う

▶ ASO環境共生基金を阿蘇市長に贈呈



世界的規模で社会奉仕につとめるライオンズクラブ、阿蘇一の宮クラブ（井春喜会長）の結成20周年を祝った記念式典が4月4日、阿蘇青少年交流の家で行われました。式典は、来賓や県内のライオンズクラブ会員など多数出席するなか開かれ、大会会長田中則次氏が挨拶で20年のあゆみを述べたほか、記念事業「ASO環境共生基金（30万円）」の贈呈、また、特別講演として、永年ライオンズクラブ会員としても貢献されている内田徳郎氏（大阿蘇病院理事長）による、「認知症の症状と予防」と題した講演、交流会などがあり、大きな節目にふさわしい一日となりました。阿蘇一の宮ライオンズクラブは、日頃から青少年健全育成、老人クラブ、福祉、人づくりなどの奉仕に取り組み、地域社会に大いに貢献されています。

▶ 日吉教育長に教材を贈呈する
JA阿蘇本所営農部営農企画課課長代理 宇都宮久人さん



5年生全員にJAが教材を配本

JA（農協）、農林中央金庫によるJAバンクでは、平成20年度から食農教育応援事業を展開し、その一環として全国の小学生に、補助教材「農業とわたしたちの暮らし」を配っています。本市でも学校で米づくりなど農と食を学ぶ5年生に配られました。このほかJA阿蘇では、「阿蘇っ子スクール」という、野菜を種から育ててその野菜を食べる一貫した教育にも取り組まれ、阿蘇の大自然を担う子どもたちの健やかな成長を応援されています。